

2024年 9月 28日 (土)

心躍る『オデュッセイア』の世界 ～西洋美術の作例から～

山岸亜友美 (学芸員)

古代ギリシアの叙事詩『オデュッセイア』。トロイア戦争の英雄オデュッセウスが経験した10年におよぶ冒険譚です。この物語を描いた西洋美術の作例を、古代の陶器画から近代の油絵、版画まで多彩にご紹介します。

2024年 10月 26日 (土)

美術家たちと「食」

奥村真名美 (学芸員)

今回の美術講座では、美術家と「食」に注目します。「食」の好みや思い出などには、作家の人となりを感じ取れたり、意外な一面垣間見ることも…。実り多き秋の時期、美術と食についてご紹介します。

2025年 1月 25日 (土)

障がい者アートいろいろ

前山裕司
(新潟市美術館特任館長 出張講座)

新潟美術館市民ギャラリーで開催する「あふれる思い ぶれる気持ち」は新潟市が障がいのある方の表現活動の調査を行い、それをもとにした展覧会です。その会期にあわせて、監修者である新潟市美術館の前山特任館長が、障がい者アートについて幅広くお話しします。

2025年 2月 8日 (土)

絵本を展示すること

大野智世 (学芸員)

毎年各地で開催される絵本まつわる展覧会。その成り立ちやあゆみを振り返り、展示室で絵本をみることの意味を考えます。あわせて、「絵本」の領域を拡張するかのように様々なアプローチを試みてきた作家・荒井良二の活動を紹介します。

2024年度

新潟美術館 学芸員による 美術講座

美術に関するさまざまなテーマで、
学芸員が日頃の研究成果をわかりやすくお話しします
お気軽にご参加ください

2025年 2月 24日 (月・振休)

作品としての新潟美術館

上池仁子 (学芸員)

1997年「従来の美術品展示の枠を超える」ことを目指して開館した新潟美術館。開館当初の特色ある事業や、建築の見どころなどを紹介します。企画展「共鳴、あるいは不協和音 新潟市美術館と新潟美術館の両館所蔵品による」の関連講座です。

2025年 3月 1日 (土)

悲しき彫刻 —パブリックアートとはなにか

荒井直美
(新潟市美術館学芸員 出張講座)

美術館という守られた空間ではなく、屋外に飛び出したパブリックアート。全国各地の芸術祭などで今も新たに増え続けている一方で、ある日突然姿を消すものもあります。華やかさの影にさまざまな理由で消えていった存在について、具体的な事例を通して考えます。

2025年 3月 8日 (土)

ロワールの古城からみるフランス王家の歴史—プロワ城より

石月裕子 (学芸員)

フランス最長の大河、ロワール川の流域には美しい古城が点在しています。本講座ではその中でも主としてプロワ城に着目し、ヴァロワ朝中期からその終焉、そしてブルボン朝成立に至るまで(15～16世紀)王家の歴史を辿ります。

託児サービス (無料)

日時 美術講座の開講日
13:00～15:30
対象 生後6カ月～未就学児
定員 3名(先着順)
申込 利用の3日前までに
電話でお申込みください
0250-25-1300

※専門スタッフが
お預かりします

pictures by pngtree.com

時間 各回 13:30～15:00
会場 新潟美術館 1階レクチャールーム
定員 50名 (当日先着順)
聴講無料、事前申込み不要



新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109 番地 1
(花と遺跡のふるさと公園内、新潟県立植物園となり)
TEL. 0250-25-1300 <https://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

詳しい
交通案内は
こちら

